

## 第1 監査の概要

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 株式会社 三重県四日市畜産公社  
商工農水部農水振興課、食肉センター・食肉地方卸売市場  
(出資に関する事務の所管所属)
- 3 事前調査期間 平成23年12月14日から平成24年1月11日まで
- 4 監査期間 平成24年1月12日
- 5 監査対象年度 平成22年度
- 6 監査対象事項 出納その他の事務
- 7 監査方法 関係帳票の整備、記帳及び証拠書類の保存は適切か、会計経理及び財産管理等は適正に行われているか、財務諸表は適正に表示されているかに重点をおいて、関係帳票、証拠書類等の抽出調査及び監査調書に基づく質問等により行った。  
また、所管所属に対して、出資団体の事業運営を十分把握し、指導的役割を果たしているかに重点をおいて、監査調書に基づく質問等により行った。

## 第2 監査対象の概要

- 1 設立年月日 昭和56年2月27日
- 2 資本金等(平成23年3月末日現在)
  - (1) 発行可能株式総数 400,000株
  - (2) 発行済株式の総数 100,000株
  - (3) 払込資本金 1億円
  - (4) 四日市市の出資 25,000千円(出資割合 25.0%)
- 3 役員数及び従業員数(平成23年11月末日現在)
  - (1) 取締役 9名  
代表取締役社長 山中 正則  
専務取締役 原田 秀十志  
その他取締役 四日市市商工農水部長ほか6名
  - (2) 監査役 2名(四日市市会計管理室長ほか1名)
  - (3) 従業員 63名(シニアパートナー、嘱託職員、パート職員を含む。)
- 4 事業内容(定款第2条による)
  - (1) 家畜のと殺及び解体
  - (2) 家畜枝肉並びに部分肉の荷受及び卸売
  - (3) 前各号に付帯する一切の業務

5 決算の状況（経営成績及び財務状況等）

第30期(平成21年度)、第31期(平成22年度)の経営成績を示す損益計算書、財務状況を示す貸借対照表は次の各表のとおりである。なお、各表は、当法人作成の「決算報告書」から転記したものである。

(1) 比較損益計算書

(単位:円)

科 目	第31期(平成22年度)	第30期(平成21年度)	対前年度増減
売上高	627,914,746	550,171,334	77,743,412
販売手数料	141,437,470	127,198,089	14,239,381
解体手数料	155,962,822	150,685,645	5,277,177
業務受託料	77,376,990	52,185,000	25,191,990
冷蔵庫保管料	25,595,231	26,367,180	771,949
牛加工料	31,922,419	22,061,288	9,861,131
豚内臓売上高	67,891,180	73,574,456	5,683,276
牛内臓売上高	65,588,943	53,944,259	11,644,684
豚加工料	62,139,691	44,155,417	17,984,274
売上原価	75,750,963	72,024,229	3,726,734
豚内臓仕入高	35,217,031	38,753,870	3,536,839
牛内臓仕入高	40,533,932	33,270,359	7,263,573
売上総利益額	552,163,783	478,147,105	74,016,678
販売費一般管理費	635,236,854	611,118,242	24,118,612
役員報酬	10,780,000	12,115,000	1,335,000
給与手当	219,729,182	216,824,721	2,904,461
雑給	0	18,000	18,000
賞与	46,172,661	50,297,260	4,124,599
退職金	4,844,586	7,043,979	2,199,393
中退金掛金	5,048,050	5,202,210	154,160
外注費	47,946,635	46,495,443	1,451,192
法定福利費	42,586,214	38,906,315	3,679,899
福利厚生費	2,308,880	2,379,465	70,585
出荷奨励金	68,989,915	67,745,862	1,244,053
完納奨励金	14,652,629	15,151,151	498,522
通信費	1,917,859	1,750,709	167,150
接待交際費	625,881	1,122,153	496,272
減価償却費	2,345,481	1,377,471	968,010
賃借料・市場使用料	26,386,515	25,543,241	843,274
保険料	1,604,180	2,066,120	461,940
修繕料	3,182,901	3,289,948	107,047
水道光熱費	34,751,090	34,275,250	475,840

燃料費	2,508,569	2,403,935	104,634
消耗品費	21,461,763	20,661,162	800,601
租税公課	14,530,983	11,207,300	3,323,683
運賃	3,360,000	3,472,850	112,850
共励会賞品	428,291	618,920	190,629
事務用品費	2,752,942	3,044,961	292,019
広告宣伝費	58,510	1,952,672	1,894,162
振込手数料	974,370	975,761	1,391
諸会費	1,724,308	1,837,105	112,797
廃棄物処理費	17,483,046	15,886,796	1,596,250
会議費	81,095	45,195	35,900
旅費交通費	6,238,852	7,623,764	1,384,912
支払報酬	1,444,005	1,144,035	299,970
研修費	66,000	31,000	35,000
貸倒引当金繰入額	2,160,800	1,974,500	186,300
受託品事故損	631,022	734,111	103,089
新聞図書費	209,739	261,080	51,341
寄付金	140,000	50,000	90,000
リース料	4,620,000	4,645,200	25,200
退職給与引当金繰入額	9,260,000	540,000	8,720,000
賞与引当金繰入額	10,919,499	0	10,919,499
雑費	310,401	403,597	93,196
営業利益額	83,073,071	132,971,137	49,898,066
営業外収益	82,450,752	84,220,063	1,769,311
受取利息	882	794	88
受入補助金	77,902,000	80,059,215	2,157,215
賃貸・光熱料	408,000	336,000	72,000
雑収入	4,139,870	3,824,054	315,816
営業外費用	943,374	1,299,889	356,515
支払利息割引料	943,125	1,298,977	355,852
雑損失	249	912	663
経常利益額	1,565,693	50,050,963	48,485,270
特別利益	1,974,500	1,600,371	374,129
貸倒引当金戻入益	1,974,500	1,194,520	779,980
退職給与引当金戻入益	0	405,851	405,851
税引前当期純利益額	408,807	48,450,592	48,859,399
法人税、住民税及び事業税	200,000	200,000	0
当期純利益額	208,807	48,650,592	48,859,399

## ( 2 ) 比較貸借対照表

(単位:円)

科 目	第 31 期(平成 22 年度)	第 30 期(平成 21 年度)	対前年度増減
流動資産	254,713,890	199,468,827	55,245,063
現金・預金	145,640,699	108,828,487	36,812,212
牛加工売掛金	1,662,733	781,302	881,431
受託販売未収金	75,944,887	62,710,205	13,234,682
内臓未収金	5,031,019	5,144,703	113,684
豚加工売掛金	4,161,461	3,214,722	946,739
貯蔵品	1,384,095	1,583,927	199,832
前払費用	73,880	0	73,880
立替金	338,894	304,740	34,154
未収入金	20,224,462	17,048,671	3,175,791
未収冷蔵庫使用料	571,935	591,570	19,635
自家用未収金	1,840,625	1,235,000	605,625
貸倒引当金	2,160,800	1,974,500	186,300
固定資産	145,532,031	147,887,812	2,355,781
有形固定資産	3,903,359	5,823,590	1,920,231
建物附属設備	107,788	166,842	59,054
設備造作	284,444	453,733	169,289
機械装置	1,240,182	1,789,864	549,682
車両運搬具	1,267,947	2,127,410	859,463
工具器具備品	1,002,998	1,285,741	282,743
無形固定資産	1,328,672	1,753,922	425,250
電話加入権	128,260	128,260	0
ソフトウェア	1,200,412	1,625,662	425,250
投資その他の資産	140,300,000	140,310,300	10,300
長期貸付金	140,000,000	140,000,000	0
保証金	300,000	310,300	10,300
資産合計	400,245,921	347,356,639	52,889,282
流動負債	205,693,414	160,299,716	45,393,698
短期借入金	20,000,000	10,000,000	10,000,000
未払費用	145,389,072	127,047,762	18,341,310
未払法人税等	200,000	200,000	0
預り金	29,184,843	23,051,954	6,132,889
賞与引当金	10,919,499	0	10,919,499
固定負債	190,183,080	182,896,303	7,286,777
長期借入金	140,000,000	140,000,000	0
預り保証金	32,383,080	32,356,303	26,777

長期前受金	8,000,000	10,000,000	2,000,000
退職給与引当金	9,800,000	540,000	9,260,000
負債合計	395,876,494	343,196,019	52,680,475
株主資本	4,369,427	4,160,620	208,807
資本金	100,000,000	100,000,000	0
利益剰余金	95,630,573	95,839,380	208,807
その他利益剰余金	95,630,573	95,839,380	208,807
繰越利益剰余金	95,630,573	95,839,380	208,807
純資産合計	4,369,427	4,160,620	208,807
負債・純資産合計	400,245,921	347,356,639	52,889,282

## 6 取扱高

平成 21 年度、平成 22 年度の取扱高については、次の各表のとおりである。なお、各表は、当法人作成の「第 31 期定時株主総会召集通知」添付の取扱高報告から転記したものである。

【牛】	平成 22 年度	平成 21 年度	対前年比 (%)
入荷頭数	5,985	5,628	106.3
取引頭数	1,657	1,273	130.2
平均単価/頭	550,710	575,043	95.8
平均単価/ k g	1,301	1,344	96.8
取引金額	912,526,406	732,029,287	124.7

【豚】	平成 22 年度	平成 21 年度	対前年比 (%)
入荷頭数	84,219	82,860	101.6
取引頭数	84,140	82,003	102.6
平均単価/頭	34,397	31,853	108.0
平均単価/ k g	451	422	106.9
取引金額	2,894,164,013	2,612,031,331	110.8

牛豚合計取引金額	3,806,690,419	3,344,060,618	113.8
----------	---------------	---------------	-------

【牛部分肉】	平成 22 年度	平成 21 年度	対前年比 (%)
取扱頭数	963.5	731.0	131.8
取扱重量	338,689.3	263,052.2	128.8
平均賃加工料/ k g	94	84	111.9
取扱金額	31,922,419	22,061,288	144.7

【豚部分肉】	平成 22 年度	平成 21 年度	対前年比（％）
取扱頭数	18,619	12,614	147.6
正肉重量	1,025,965.6	692,693.4	148.1
取扱金額	62,139,691	44,155,417	140.7

【内臓処理】	平成 22 年度	平成 21 年度	対前年比（％）
内臓売上	122,207,793	118,156,218	103.4
その他売上	11,272,330	9,362,497	120.4
合計売上金額	133,480,123	127,518,715	104.7

総取引金額	4,034,232,652	3,537,796,038	114.0
-------	---------------	---------------	-------

### 第 3 監査の結果

「株式会社三重県四日市畜産公社」の出納及びその他関連する事務並びに所管所属の当法人に対する指導状況等についての監査の結果、次の指摘事項及び意見のとおり、注意、是正又は改善を要するものが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、是正、改善等を要するものについては、その措置を講じるよう要望する。

なお、是正、改善等の措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

#### 1 指摘事項

##### 【株式会社 三重県四日市畜産公社】

##### (1) 準社員について

就業規則及び従業員賃金規程に準社員の規定を設けること。

【是正事項】

##### (2) 金券等の管理について

郵便切手及び収入印紙受払簿に、払出理由(目的)、取扱者名を記載する様式に改めること。

【是正事項】

##### (3) 経理規程について

当法人には、総務部長という職が存在しないが、経理規程の各条項に総務部長が行う事項が規定されているので、現状に合わせて改正すること。また、同規程第 14 条では「出納責任者は、自ら伝票を作成することはできない」と規定しているが、自ら作成している。内部牽制を確保するためにも早急に事務処理体制を改めること。

【是正事項】

##### (4) 役員報酬について

役員報酬規程がなく、株主総会、取締役会でその都度決議しているとの説明があったが、議

事録にその旨の記載がなく、どのような経緯で役員報酬金額の決定がなされたのかが不明であるので、役員報酬規程を作成すること。【是正事項】

加えて、現在の役員報酬金額を明確にするため、議事録を復刻作成して保存すること。

【是正事項】

(5) 退職給与引当金の計上について

退職給与引当金の計上額が、従業員退職金支給規程に基づく期末要支給額と比較して引当不足となっている。速やかに規程に基づいた所要額を計上し、決算書類において公社の財務状況を適正に表示すること。また、この所要額を計上することにより大幅な積立不足が生じることになるので、計画的な積立を行うこと。【是正事項】

(6) 事故報告について

労働災害適用以外の軽度な事故等についても記録を残すとともに、ヒヤリハット報告を活用するなど、事故の発生要因を分析することで、事故防止に努め、安全な労働環境を整えること。

【注意事項】

(7) 旅費交通費について

職員の通勤手当を旅費交通費で計上しているが、適切な勘定科目で計上すること。

【注意事項】

(8) 株主への正確な情報提供について

第30期並びに第31期株主総会資料を抽出で検査したところ、第30期では貸借対照表、第31期では取扱高報告において、記載数値に誤りが認められた。書類作成は正確を期し、株主に対して財務状況と営業状況の適正な情報提供を行うこと。【注意事項】

【商工農水部農水振興課、食肉センター・食肉地方卸売市場】

特になし

## 2 意見

【株式会社 三重県四日市畜産公社】

(1) 受託品事故損について

平成21年度以降、受託品事故損が増加している。事故原因を分析し、人為的要因については、職員研修などにより技術向上を図り、施設・設備的要因については、本市と協議して必要な施設・設備修繕を行うこと。【改善事項】

(2) 牛のと畜解体取扱量の向上について

食肉センターのと畜解体処理能力の牛50頭/日、豚350頭/日に対し、年間と畜解体取扱量は、平成22年度実績で、牛49.9%、豚100.3%となっている。牛のと畜解体については余

力があるので、収入の増加を図るためにも、営業活動を活発化させるなど、牛のと畜解体取扱量の向上対策について検討し、抜本的な経営改善を行うこと。 【改善事項】

(3) 市場での牛の取引率の向上について

牛、豚の市場での取引率は、豚の 99.9%に比べて、牛は 27.7%と大きく下回っている。牛の生産者と卸売業者の取引は、流通の効率化の影響を受けて、大手が直接に買い付ける傾向があるものの、牛豚の取引率に格差が大きく、拡大の余地は大きいと考えられる。販売手数料は貴重な収入源であることから、牛の市場取引割合を向上させるよう取り組むこと。

【要望事項】

(4) 役員構成等の見直しについて

推薦団体内での充て職により選任された役員(取締役、監査役)が、その地位、役職を離れた以降も役員として活動することは、法人の経営方針や事業計画、予算決算等の重要事項を審議・承認し、日常の経営活動を統治・監視する機関である取締役会のガバナンス機能を著しく弱めることになりかねない。経営を執行する管理者はじめ社員の適切な活動により、事業が改善・改革が図られているか厳しく指導・監視できるよう、取締役会等の構成と役員の選任方法について改善を行うこと。

【改善事項】

(5) 減価償却について

平成21年度決算整理において、赤字決算額が大きくなることを理由に、部分的に50%償却を行っている。このことは、年度ごとの決算数値を操作し経営の判断を誤らせる可能性が大きい。特に継続性の原則を意識し、市民、株主等関係者の判断を誤らせることのないようにすること。

【改善事項】

(6) 累積損失の解消について

平成22年度期末で約9,500万円ある累積損失の解消について、目標年度を設定すること。また、目標の達成には年度別販売計画や資金計画が必要になるが、策定した計画を実行すること。

【改善事項】

【商工農水部農水振興課、食肉センター・食肉地方卸売市場】

(1) 施設設備の修繕について

当法人の修繕料、受託品事故損の内容は、施設設備の老朽化を原因とするものが多数を占めていた。施設設備に関しては、適時当法人と共に見直しを行い、必要な更新、修繕を行うこと。

【要望事項】

(2) 当法人の経営に対する指導監督について

当法人の累積損失解消に向けた経営改善計画策定に関しては、三重県四日市畜産公社経営改善委員会からの提言を踏まえ、経営会議において方向付けへの支援を行うこと。また、当法人が経営改善等のために策定した各種計画について、計画どおり履行されるよう、適切な指導監督を行うこと。

【要望事項】